

グリーンフラッグ 10月の活動

10月はたくさんの実りを発見しました！



<稲刈り>

10月12日に冒険隊による稲刈りが行われました。1年生に鎌の持ち方を教える6年生。保護者や地域の方々、JA相川支所の方も駆けつけてくださり、子ども達の安全面に気を配って活動を支援していただきました。今年は、冷夏と言われたにも関わらず、相川小のもち米は昨年よりも多くの収穫を得ることが出来ました。12月には収穫したもち米を使っておはぎ集会を行い、収穫の喜びとお世話になった方々に感謝の気持ちを伝えていきます。

<秋みつけ>

冒険隊による「秋みつけ」が季節外れの台風の影響により、5日遅れて10月24日に行われました。今回の台風は、相模川のほほえみ広場が水没するほどでした。川方面の観察チームは、3年生が中心となって育てているカワラノギクがどうなっているか心配になって見に行きました。水に浸かってはいましたが、流木の被害からは逃れて咲いていました。今年は、昨年よりもたくさんの花をつけていて、子ども達も大喜びでした。流木の中にたくさんのゴミが混じっていることに気付いた子ども達。何か出来たらと思います・・・

校庭方面の観察チームは、相川の森でヒマラヤスギの大きな球果を拾ったり、裏庭では、柿やザクロを観察したり、たくさんのドングリを拾ったりしました。こちらにも、数種類のバッタやテントウムシなど、たくさんの生き物の発見があったようです。どちらも春に比べると圧倒的に生き物の数が多いこと、大きくなっていること、次の命を繋ごうとしていることがわかりました。



水に浸かったカワラノギク

<相川の森の手入れ>

流木の上を歩いていく子ども達

昨年の6年生が相川の森の間伐材を使って堆肥場を作ってくれました。落ち葉が腐葉土になったので6年生がかき出してくれました。そのお手伝いに今年も「かながわトラストみどり財団」の森林インストラクターの皆さんが来校してくださいました。

また、その堆肥場と中庭、草捨て場の3カ所から土を採取して、どんな土壌生物がいて、本校の土の環境はどうなっているのか学習しました。発見した土壌生物の指標点数と照らし



合わせると相川小の土壌環境がわかるのです。結果はどこも高得点でした。最高点だったのは、中庭の土です。47点を獲得しました。これは、奥深い山の土壌と同じくらいの良い環境ということです。6年生は、土生物から環境を学ぶことができ、知識が広がりました。